

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：Embed-It™ Low Viscosity Epoxy Kit
製品番号：24300-1（メーカー略号: PSI）
構成品名：EMBED-IT™ SOLUTION A
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4
急性毒性(吸入): 区分 4
皮膚腐食性/刺激性: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1
皮膚感作性: 区分 1
生殖細胞変異原性: 区分 2
発がん性: 区分 1B
生殖毒性: 区分 2
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(肝臓、呼吸器系、腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(呼吸器、腎臓)

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害
吸入すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害のおそれ(肝臓、呼吸器系、腎臓)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器、腎臓)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
エピクロロヒドリン	5.0	106-89-8	2-275
2, 2' -[シクロヘキサン-1, 4-ジイルビス(メチレンオキシメチレン)]ビスオキシラン	65	14228-73-0	-
ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル	35	17557-23-2	2-396

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分 エピクロロヒドリン
安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分
エピクロロヒドリン、
ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル(令和7年4月1日施行)
化管法「第1種指定化学物質」該当成分 エピクロロヒドリン

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。
適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性・毒性・発がん性を有する製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
アレルギーを起こすおそれがある製品。症状が遅れて出ることがある。
医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

区域より退避させること。
消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。
漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。
回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

- 安全な保管条件**
 - 施錠して保管すること。常温で保存すること。容器を密閉して、涼しく換気の良い場所に保管すること。
- 安全な容器包装材料**
 - 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度：データなし
- 許容濃度
 - (エピクロロヒドリン)
 - ACGIH(1997) TWA: 0.5ppm (上気道刺激; 男性生殖機能)
- 特記事項
 - (エピクロロヒドリン)
 - 皮膚吸収

ばく露防止**設備対策**

- 密閉された装置、局所排気装置を使用する。
- 洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

- 呼吸用保護具**
 - 呼吸用保護具を着用すること。(防毒マスク)
- 手の保護具**
 - 保護手袋を着用する。(不浸透性)
- 眼の保護具**
 - 側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具**
 - 保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：液体
- 色：薄黄色
- 臭い：データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
- 可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
- 引火点：データなし
- 自然発火点：データなし
- 分解温度：データなし
- pH：データなし
- 動粘性率：データなし
- 蒸気圧：データなし
- 密度及び/又は相対密度：データなし
- 相対ガス密度(空気=1)：データなし
- 粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性**反応性**

データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
データなし
混触危険物質
強酸化性物質
危険有害な分解生成物
データなし

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

区分 4, 飲み込むと有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

rat LD50=90mg/kg (環境省リスク評価 第1巻, 2002)

(ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル)

rat LD50=4500mg/kg (PATTY 5th, 2001)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

rat LD50=591.5mg/kg (PATTY 5th, 2001)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 4, 吸入すると有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

vapor: rat LC50=251.1ppm (環境省リスク評価第1巻, 2002)

労働基準法: 疾病化学物質

エピクロロヒドリン

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

ラビット/ヒト 強度の刺激性など (CERI/NITE有害性評価書 ver.1.1 No.74, 2004)

(ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル)

ラビット Draize test: 中程度刺激性 (PATTY 5th, 2001)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 1, 重篤な眼の損傷

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

皮膚腐食/刺激性区分1

(ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル)
ラビット 洗眼後も僅かな刺激性 (PATTY 5th, 2001)

呼吸器感受性又は皮膚感受性

皮膚感受性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

cat. 1; ACGIH 7th, 2001; EHC33, 1984

(ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル)

cat. 1; PATTY 5th, 2001

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 2, 遺伝性疾患のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

cat. 2; human : CERI/NITE有害性評価書 No.74, 2004

発がん性

[製品]

区分 1B, 発がんのおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

cat.1B; IARC Gr. 2A (IARC, 1999 et al.)

[IARC]

(エピクロロヒドリン)

Group 2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある

[ACGIH]

(エピクロロヒドリン)

A3(1997) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]

(エピクロロヒドリン)

第2群A: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(エピクロロヒドリン)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品]

区分 2, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

cat. 2; human : CERI/NITE有害性評価書 No.74, 2004

催奇形性 : データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

肝臓、呼吸器系、腎臓 (CERI/NITE有害性評価書, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

呼吸器、腎臓 (CERI/NITE有害性評価書, 2008)

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=10.6mg/L/96hr (環境省リスク評価第1巻, 2002)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(エピクロロヒドリン)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=1.7mg/L/72hr (SIDS, 2009)

水溶解度

(エピクロロヒドリン)

6 g/100 ml (ICSC, 2003)

残留性・分解性

[成分データ]

(エピクロロヒドリン)

急速分解性あり (48時間後の分解度: 75% (OECD TG301A) (SIDS, 2009))

生体蓄積性

[成分データ]

(エピクロロヒドリン)

log Kow=0.45 (PHYSPROP DB, 2009)

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：1760

品名(国連輸送名)：その他の腐食性液体、N.O.S. (エピクロロヒドリン)

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：8

容器等級：I/II/III

指針番号：154

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を
確実にを行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Y類) エピクロロヒドリン

国内規制がある場合の規制情報
毒劇法、消防法の規定に従う。
船舶安全法 腐食性物質 分類8
航空法 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(令第2条) エピクロロヒドリン(5%)(法令番号 15の2)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

エピクロロヒドリン(別表第9の87);

ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル(別表第9,令和7年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険/有害物

エピクロロヒドリン(別表第9の87);

ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル(別表第9,令和7年4月1日施行)

がん原性がある物(規則第577条の2第3項)

エピクロロヒドリン

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(エピクロロヒドリン)

(2, 2'-[シクロヘキサン-1, 4-ジイルビス(メチレンオキシメチレン)]ビスオキシラン)

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

エピクロロヒドリン(5.0%)[エピクロロヒドリン(5%)]

消防法

危険物 第4類 引火性液体第3石油類(非水溶性) 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法

優先評価化学物質 エピクロロヒドリン(政令番号22 人健康影響)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質 エピクロロヒドリン

水質汚濁防止法

指定物質 エピクロロヒドリン 法令番号 26

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：Embed-It™ Low Viscosity Epoxy Kit
製品番号：24300-1（メーカー略号：PSI）
構成品名：EMBED-IT™ SOLUTION B
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1
皮膚感作性：区分 1
呼吸器感作性：区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

皮膚刺激
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれ

注意書き

安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
呼吸用保護具を着用すること。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
無水5-メチルヘキサヒドロフタル酸	91-100	19438-60-9	3-2450

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

アレルギーを起こすおそれがある製品。医師にばく露物質名、防護のための注意を通知する。

アレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある製品。症状が遅れて出ることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

吸入によりアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

呼吸用保護具を着用すること。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

常温で保存すること。容器を密閉して、涼しく換気の良い場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(防毒マスク)

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色～薄褐色

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：135℃

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし

呼吸器感受性又は皮膚感受性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)：データなし

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

水溶解度

(無水5-メチルヘキサヒドロフタル酸)

反応する (ICSC, 2001)

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報
消防法の規定に従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法

危険物 第4類 引火性液体第3石油類(非水溶性) 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。